

【様式1】 令和元年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	八百津町	学校名	八百津町立八百津中学校			
校長名	安藤 充優	対象学年	1年	人数	81人	
項目	○	①	小・中学校の関連性や発展性を踏まえた実践や、幼保園、高等学校、特別支援学校等と連携を図った実践			
該当する項目に○をつける		②	県内施設や地域人材等の外部資源を活用し、岐阜県が誇る自然・歴史・文化・産業等の体験を通して学ぶ取組を効果的に位置付けた実践			
		③	ふるさと学習を核として、総合的な学習の時間と各教科、特別の教科道徳等との関連を図った教育課程を編成し、取り組んだ実践			
活動のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の偉人である杉原千畝氏について、小学校で学んできた内容をさらに深め、他を思いやる気持ちを養う。</li> <li>・体験学習を通して、自然豊かな八百津町の良さに気づき、郷土を愛する気持ちを育む。</li> </ul>					
<p><b>1 活動の特色</b></p> <p>①人道学習：郷土の偉人である杉原千畝氏の残した功績について、敦賀ムゼウムと杉原千畝記念館での調べ学習をもとに深めることで、他を思いやる気持ちを養う。</p> <p>②ふるさと学習：ふるさとの自然を生かした体験学習や地域の特色を生かした商店や施設での調べ学習を通して、ふるさとの魅力を実感し、郷土を愛する気持ちを育む。</p> <p><b>2 活動の概要</b></p> <p>①人道学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月7、8日に行った若狭研修の初日に人道の港敦賀ムゼウムで杉原千畝氏や日本に上陸したユダヤ人について調べ学習を行った。館長講話やさまざまな資料を通して、杉原千畝氏によって救われた命がどうつながっていったかを学んだ。学んだことは、若狭研修の壁新聞としてまとめた。</li> <li>・11月22日に、人道の丘公園内にある杉原千畝記念館の見学に行った。記念館館長の講話を聞くと共に、杉原千畝氏の行った偉業について、記念館の展示や資料から学んだ。6月に行った敦賀ムゼウムでの調べ学習とつなげて、杉原千畝氏によってつながった命について、さらに考えを深めることができた。＜資料1＞</li> </ul> <p>②ふるさと学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月3日に行った蘇水公園漕艇場でのボート体験では、ドラゴンカヌー、カヌー、サップボート、バナナボートの4種類のボート体験をした。豊かな自然の中で、マリンスポーツを体験することで、ふるさと八百津を愛する気持ちを育むことができた。＜資料2＞</li> <li>・10月にふるさと八百津をPRする壁新聞＜資料3＞を作成した。そのための取材として9月27日、10月4日に、八百津町内の商店（栗金団店など）、公共の施設（役場、ダムなど）、お寺などを班ごとに役割分担をして訪問した。訪問先では、自分たちの暮らす八百津町の特色を生かした商店、自然を生かすための施設など、そこで働く方々から生の声を聞くことで、ふるさと八百津の魅力について学ぶことができた。</li> <li>・10月24日に清流の国ふるさと魅力体験事業を活用し、関ヶ原古戦場跡地の見学に行った。関ヶ原ウォーランドの館長講話や古戦場跡地散策のガイド説明などを聞き、昔の人たちがどのような思いで戦に向かっていったかを知り、人の命の大切さについて考えた。＜資料4＞</li> </ul> <p><b>3 活動を通しての児童生徒の変容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユダヤ人が上陸した敦賀の地での学習を取り入れたことで、郷土の偉人である杉原千畝氏の功績について深く学ぶことができた。また、年間を通して実施しているひびきあい活動ともつながりを持たせることができ、命の大切さ、他を思いやる気持ちを養うことにつながった。</li> <li>・八百津町の自然の豊かさに触れることで、郷土を愛する気持ちを育むことができた。</li> </ul>						



敦賀ムゼウム調べ学習



蘇水公園ボート体験

関ヶ原古戦場跡地見学



丸山ダム調べ学習



新聞づくり



完成した新聞

